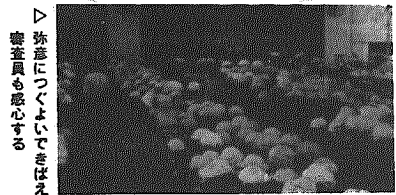


文化祭 菊花展・写真展・生花展

賑やかに 菊、村長賞に高橋達栄氏



▷ 弥彦につくよいできばえ 審査員も感心する

茶道「小学生も一席、仲間入り」

青年団、子ども達に映画のサービス

写真展

写真家グループ、横越島の人達の作品で、40点が展示された。子どもを撮った写真から山の写真、外国へ行った撮った時の写真、昔の田舎風景からロードまで、幅広い作品が人の目を惹きつけてくれた。

茶道

村内の蕨千家を志す有志が、二階和室に茶席をつくり、いづくの心静かなお手前を披露してくれた。小学生から青年まで、又それれ、茶道に通じている婦人達が湯物姿も美しく飾って、茶の湯を楽しんでくれた。参加者はおよそ二百名でした。

去る十一月三日・四日、横越公民館並びに横越分館において文化祭が開催された。公民館では、菊花展、生花展（小原流）、茶道（蕨千家）写真展と、連合青年団主催による「おでん」「わたあめ」「ソークリーム」販売等の一坪店が開かれた。さらに低学年の子供に、公民館前のアスファルトにさまざまな色のチョークを置いて、漫画や落書きを自由に書いてもらった。これらの連青の行事は今年の「国際児童年」に焦点をあてたことを主眼においたもの。又午前午後、回つことも対象とした映画会も催された。天候にめぐまれた良い文化祭であった。

菊花展

菊愛好家の話では、今年の菊はどれも悪くない、という下馬評であったが、ふたをあけてみたらいたしで、五五〇鉢余のときは弥彦につくよいできばえ（審査員の話）というものが、審査員はとも苦勞した。今年から競技花の部を設けた。品物は「世界平和」であった。入賞者は次のとおり、尚出品者は四十名余であった。

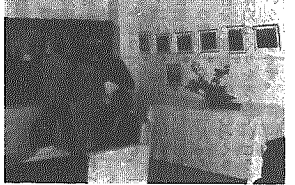
- ▼観花の部
- 優等賞 桜井由江 横越
 - 一等賞 阿部源松
 - 二等賞 岡田長作 高橋満枝
 - 三等賞 田中三男次 武藤昭夫
 - 渡辺一
- ▼総合成績
- 一位 高橋達栄 横越
 - 二位 加藤正善 木津
 - 三位 岡田長作 横越
 - 四位 桜井由江
 - 五位 市村文雄
 - 六位 金川良弥
 - 加藤守
 - 七位 神田隆吉
- 右の外に入賞された方は次のとおりです。
- 佐藤登 水井直次
 - 武藤仁一郎 田中源次郎
 - 斎藤又七 藤田健太
 - 佐藤三八六 桜井実
 - 羽田義次 五十嵐正義
 - 本間伝次 藤田昌英
 - 金川嘉寿衛
 - 鈴木勝夫 坂井幸雄
 - 伊藤千代吉 井上作市
 - 伊藤実次 若田一司
 - 駒沢憲次 阿部定雄



▷ 横越分館の書道展

生花

大きな大自然を小さな壁面に表現する小原流の生け方の中、味の主体としたかき



▷ 人目をひいた写真展

分館でも 盛大な文化祭

恒例の木津分館主催の文化祭は十一月三日午前八時三十分で開幕、農産物品評会、菊花展、書道展、余技展、演芸会、バザーと盛り沢山の行事が催されました。

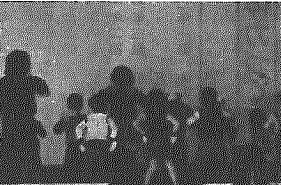
分館建物の前身木津小学校の閉校後、馴染の薄い人達も参観下さって一日中賑かたに過ぎることが出来たのは、やっぱり社会教育の場である分館ならではの云々感で強くなった。

十一月十八日横越公民館において大江山、横越親善俳句大会が開催された。主催は小阿賀社と横越公民館。兼題に、秋情、山茶花、初時雨であり、席題には、冬もみじ、冬日向、雪を決め、一句競吟は「湯釜」の題で句を読みあわせた。参加者は三十三名で、成績は次のとおりです。

又、演芸会にも双葉保育園で分館長、主催、婦人会役員民謡クラブ役員による後始末を兼ねた反省会に笑い声が絶えない有意義な文化祭であった。

十一月の第四回中、村体協から表彰された優秀競技者佐藤賞美夫（沢穂）とあるのの絶えない有意義な文化祭であった。

十一月の第四回中、村体協から表彰された優秀競技者佐藤賞美夫（沢穂）とあるのの絶えない有意義な文化祭であった。



午後四時よりは村長を囲んで分館長、主催、婦人会役員民謡クラブ役員による後始末を兼ねた反省会に笑い声が絶えない有意義な文化祭であった。

十一月の第四回中、村体協から表彰された優秀競技者佐藤賞美夫（沢穂）とあるのの絶えない有意義な文化祭であった。

好評な農産物品評会

お母さん元気！と踊る園児たち

とりたてのみずみずしい野菜

大江山・横越親善俳句大会

- 兼題一位 坪谷十九一 木津 兼題の高点句 長谷川晋子
- 二位 神田斗子 横越 秋おしむ要なり
- 三位 坪谷耕南 木津 日記書く
- 兼題一位 加藤喜秋 木津
- 二位 佐藤幸子 大江山 席題の高点句 和田江孝子
- 三位 坪谷十九一 木津 冬日溜花のハラスの
- 一句競吟 今井秀虹 木津 句を消えて俄かに遊覧め 覚えけり
- 二位 佐藤幸子 大江山
- 三位 坪谷十九一 木津

左記の方から民具等の寄贈がありましたのでお知らせします。

◎佐藤 律（二本木）

いざりばた（手織のはたおり機）飛行機まんが、ふかけ、外

◎堀山与喜男（小杉）

水製のくわ

◎武藤マツミ（横越）

そでなし、うわっぱり、外

◎お願い

ご寄贈いただいたざりばたは組立が必要ですが、そこで昔はた織りをやられた方で組立ができる方は公民館へ連絡下さい。ご協力をお願いします。

新春俳句大会

日時：十二月十八日、夜、七時半

場所：横越公民館

入場無料 五五上吟

主催：スキークラブ

◎尚、クラブ員を募集しています。

トップ写真の説明

十二年前に近くの友人から買ったもの。たまたま新潟の古町で鉢植えの気がついた松を見て、その松をみて手を入れた。若い時がはじめて木がすくんで、植木は四五〇本あり、鉢物は三〇〇くらい持っている。

この松は枯れない種で水をやれば葉がふつふつと出て、水を要求するものと一緒にしてはならない。だにまてはならない。剪定は毎年六月下旬頃から一回やる。肥料は油かすのみで二年一回やる。

兄弟木はすかり大きくなったが、この木は鉢上げ後なかなか太らないようだ。

（所有者、藤岡藤平氏）